

成果報告書

(地域部活動推進事業)

南城市立佐敷中学校 ← 拠点校名等

所在地	沖縄県南城市佐敷兼久16番地1
運営主体	特定非営利活動法人琉球交響楽団
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の技術向上 演奏する充実感、自己肯定感の向上 指導教諭(顧問)の負担軽減
団体・組織等の連携	
活動場所	南城市文化センターシュガーホール 集会室・会議室 佐敷中学校音楽室
活動概要	<p>活動の概要説明を記載する。(定量的観点、定性的観点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各パートごとに指導を行い技術の向上を図った。(8パート28回) 緊急事態宣言やまん延防止措置期間の長期化にともない、当初予定していた講習回数を実施する事が出来なかった。

○本事業による成果

本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

※教員の働き方改革、生徒の活動成果等を観点に盛り込む。(必須)

- 生徒の技術向上のみならず、コンクールへの積極的な参加など演奏する事への意識の変化も得られた。
- プロ演奏者に指導をしてもらえる機会が増えたことから楽器に対する魅力や興味関心を高める事が出来た。
- 生徒の奏法チェックを細かく丁寧に指導がなされていることから生徒の演奏する技術が高まり、顧問の合奏指導が楽しく有意義な時間となっている。このことから顧問の部活指導のストレスが解消されつつあるように思われる。

○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載する。

- 初心者が多かったため、楽器の扱い方、メンテナンスから指導を行った。
- 部員数が少人数のため、生徒一人一人に時間をかけ指導する事が出来た。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で講習会回数が減少したが、講師より基礎練習やパート練習について普段の部活動にも活かせるようアドバイスをを行った。

○運営上の工夫

運営する上で工夫している点を記載する。

- ・沖縄県は新型コロナウイルス感染症拡大のため長期間休校や部活動停止であったが、講習会場(シュガーホール)の協力を得て、可能な限り開催した。
- ・事業開始前に学校長、保護者会へ事業内容の趣旨説明を行い快諾を得た。

○継続的な運営に関する課題

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題を記載する。

- ・大型楽器(チューバ、打楽器)の移動が困難なため学校外での講習は厳しい。
- ・今回は開催校近隣(徒歩圏内)に文化施設があったが、必ずしもそうでない地域も想定される。
- ・活動場所の確保(借用料、施設の空き状況など)
- ・今年度、事業委託である琉球交響楽団が学校への講師派遣業務で留まっており、組織等の構成図にある地域部活の組織づくりまでは行えなかった。コロナ禍の影響もあり、令和5年度に向けての地域部活への移行は、あまりにも時間や予算が足りない。
- ・継続的に活動するには予算確保が課題である。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

【ここをしっかりと記載していただきますようお願いいたします。】

- ・今現在、佐敷中学校を母体とした、校区内小学校や近隣高校との連携を図り地域部活への発展を進めている。
- ・受講者募集については佐敷中学校を母体に連携校にも幅広く呼びかける。また、部活動のない学校においては、興味のある生徒も広く募集を行う。
- ・連携を図るためには母体となる学校教諭、又は文化施設担当の協力が必要である。
- ・組織体施が構築され継続的に地域部活動が見込まれた際には、受講生からの会費徴収を検討する。
- ・県、市町村教育委員会へも予算確保について検討していただくよう連携を密にする。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

募集方法	沖縄県教育委員会より県内教育委員会へ協力校の呼びかけを行った。
指導者	連携団体からの実演家10名 フルート: 眞榮田えり子 クラリネット: 大山あゆみ、伊敷美希 ホルン: 比嘉菜々子 トランペット: 田中孝子 トロンボーン: 又吉智教 チューバ: 稲嶺哲也 打楽器: 川崎馨子、新城二奈子
移動手段	徒歩及び保護者による送迎
活動費用	活動に係る主な費用について記載する。 実技指導者謝金 5,100円×2時間/28回 コーディネーター賃金 94,500円 スポーツ安全保険 800円×24名
スケジュール	10月19日(火)佐敷中学校、南城市文化センターへ事業内容説明 11月13日より講習会開始
保険加入等	スポーツ安全保険 加入区分A1 24名

※文化庁ホームページ: 地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 [事例集](#)を参照

掲載URL

(https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf)

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

【活動の様子（写真添付）】

